



豊富なノウハウと的確なサービスで 顧客の信頼に答え続ける

代表取締役 片山 博之

首都圏で多数のコインパーキングの管理・運営を手掛けている『メトロパーキング』。同社の片山社長は、何よりも地主との信頼関係を重んじており、常に誠実な対応で信望を集めてきた。本日は日々業務に専心する社長のもとをタレントのダンカン氏が訪問し、お話を伺った。

ダンカン 『メトロパーキング』さんでは、どういったお仕事を？

片山 短時間駐車できるコインパーキングを運営しております。地主さんに土地を借りるところから、駐車場の設計、機器の設置や管理・運営まで、全て手掛けているのですよ。現在少人数で運営しており、主に首都圏に特化した事業展開を行っております。

ダンカン では、片山社長はずっと東京でお仕事をされてきたのですか。

片山 いいえ。私は北海道の出身で、昔は東南アジアなどから置物などを輸入し、デパートで販売していたのです。その後、35歳で上京し、骨董を学んで古美術品なども手掛け、一時はアパレル関

係も取り扱っていましたね。

ダンカン 色々な事業を手掛けていて、どういったきっかけから今のお仕事をはじめようと思われたのでしょうか。

片山 骨董では食べていける自信がなかったからです。バブル景気が崩壊してからは骨董品なども売れなくなって、今後何をしようかと考えていたのです。不動産ならいつの時代になっても必要な商売だろう——そう思った時、たまたまコインパーキング管理を手掛ける会社の求人を見つけ、就職しました。はじめは機械の修理が主な業務でしたが、経験を重ねるにつれ色々な業務を学ばせてもらい、最終的に営業として外回りをするようになり、パーキング運営についてのノウハウを学ぶことができました。その後、1994年に独立し、現在に至っています。

ダンカン お仕事に臨む上で、何を一番大切にされていますか。

片山 地主さんとの信頼関係ですね。少し話がズレますが、同時期にコインパーキングをはじめた会社で、ある時までは好調だったのに、倒産してしまった会社があります。何故かという、営業マンがノルマだけを考えて、採算の合わない契約を取ってしまうから潰れてしまったのです。私の場合は、今までのノウハウ



を武器に、採算の取れるプランを提案し、運営しはじめてからも、きちんとデータを公開するなどして、お客様に信頼していただけるよう誠実な商売を貫いてきました。大切なことは人間関係で、土地を借りて家賃を払えばいいと言うわけではありませんから。地主さんとは世間話をすることもありますし、お中元やお歳暮などの付き合いも大切にしています。

ダンカン 誠実な人柄が成功を呼び寄せたのでしょうか。最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

片山 この仕事をはじめたころに比べると、難しい面が増えてきましたが、これからは真摯な姿勢を貫き、信頼関係を大切にした商売で、エリアを拡大していきたいと思います。

(2014年10月取材)

メトロパーキング 株式会社

東京都港区赤坂 8-12-19 メトロパーク赤坂 102

TEL 03-6804-3917

E-mail : metroparking@muf.biglobe.ne.jp

片山社長は対談で、「成功したと思ったことはない」と謙遜されていますが、そんな姿勢が多くの人々の信頼を獲得し、今日の成功に結びついたので。社長のご活躍を、陰ながら応援しています！



ダンカン (タレント)